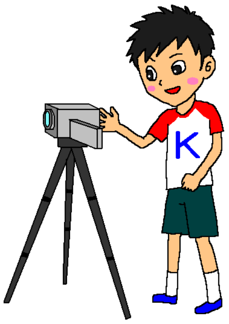
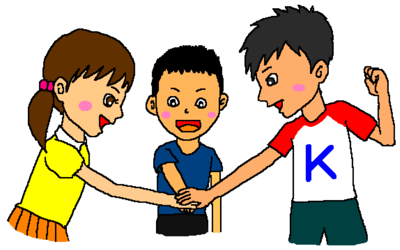
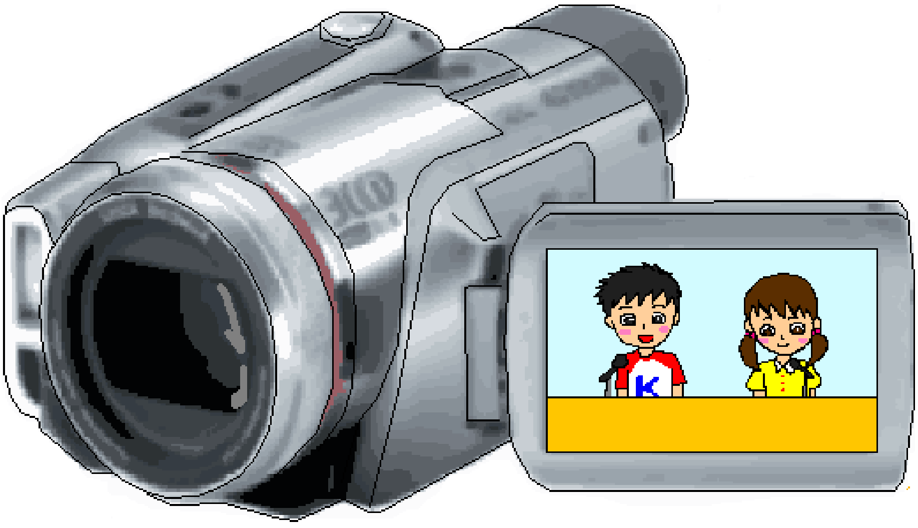
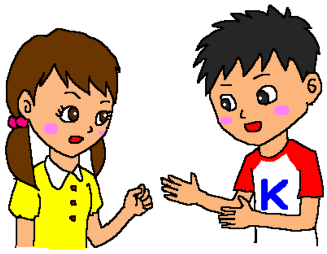
映像制作のススメ

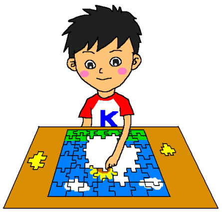
― 学ぶ・つくる・伝える ―





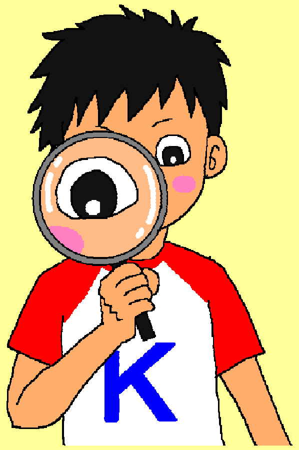






― 映像制作で身につく力 ―

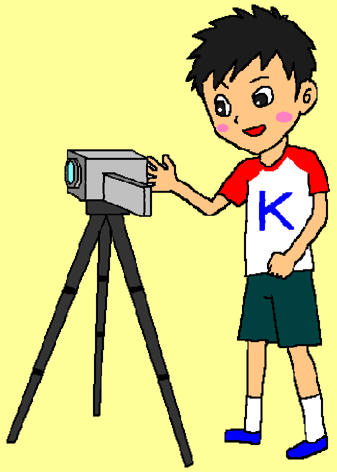
映像制作によくある「取材活動」。聞き出したいことをしっかり取材するためには、その内容について、前もって詳しく調べておく必要があります。映像制作は、探究する力を身につけることにつながるのです。



探究

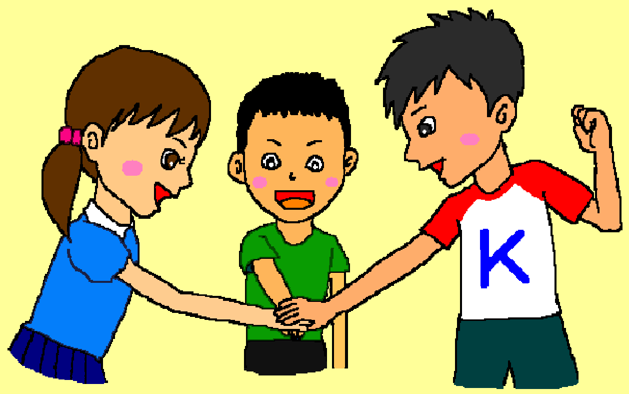
探究活動は、調べてまとめて伝える活動のくり返し。伝え合うことで自分たちの探究活動を振り返るきっかけになります。

作業を分担する、調査に協力してくれる相手と一緒に調査をするなど、探究活動には協同が欠かせません。



伝え合う

協同



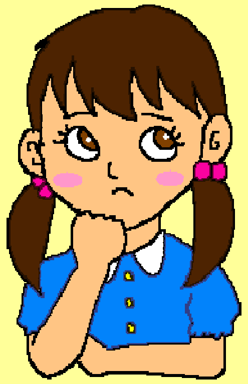
お互いの思っていることを伝え合うことで、協同的な関係が築かれていきます。

映像制作には新しい表現力が求められます。また学校には、友だちや保護者など、身近なところに作品を見てくれる人がいます。見てくれる人にどのように伝えるか、相手の立場に立って考えることが求められます。

　カメラマンやディレクターなど、異なる役割を担いながら、かつみんなでゴールに向かって協力しなければならない映像制作は協同する力を養う絶好の機会となります。

映像制作で計画する学習活動

～計画する～



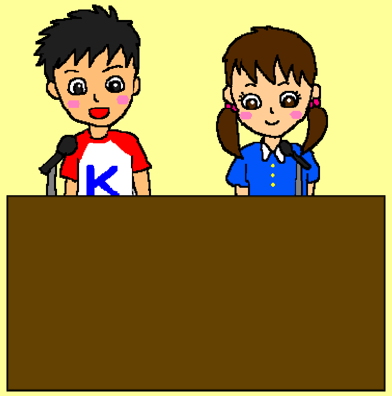
■ 問題意識づくり

「疑問」や「伝えたいという思い」は撮影テーマにつながります。地域調べを行う「社会」や、思いを表現する力を育てる場として「国語」などが関連します。

■ 企画

企画では、映像で伝えたいことを「文章」や「絵コンテ」などで表現します。
「国語」や「図工」など、表現を重視する教科での導入が考えられます。

～伝える～



■ メディアの操作

映像制作のためには，操作に関する最低限の指導も必要です。よりよく伝えたいという思いは、カメラなどの操作技術の向上へ結びつきます。

■ 表現活動

時と場合に合わせた話し方のスキルもあわせて指導する機会が出てきます。
「国語」でのコミュニケーションを重視した単元を学習する際に取り入れてみましょう。

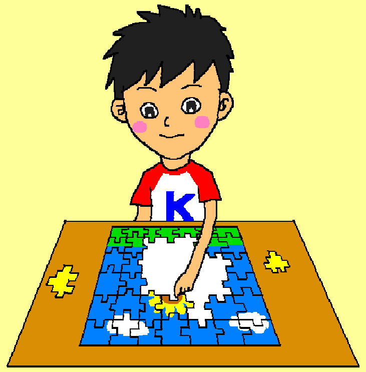
～組み立てる～

■ 取材

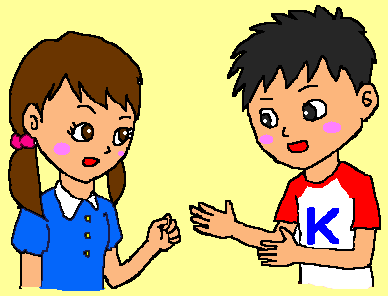
取材には、「誰に何を聞いたら、欲しい情報が手にはいるのか」を考えさせることが重要です。「国語」の「インタビュー名人になろう」といったような単元や、地域教材を扱う「社会」などが当てはまります。

■ 情報構成

どんな映像が撮影できそうか、作品のストーリー構成を考える学習活動は、「国語」や「社会」での情報の取捨選択場面、見せ方を考えるという点で「図工」なども関連します。



～振り返る～



■振り返り

自己満足で終わらせないためには、作品やその制作過程を振り返ることが重要です。
時には文章でまとめさせることも必要でしょう。

■映像批評

映像制作をしていると、普段見ている映像に対しても、注意深く観察する姿勢が生まれてきます。作品の鑑賞や読解を行う「音楽」や「図工」、「国語」などと連携ができそうです。

－現場の先生に「コツ」を聞いてみました－

Q1.映像制作で子どもにどのような力をつけようとしていますか？
映像制作で子どもに学ばせたいことは何ですか？

○伝えたい内容を明確にして，文章を書く力と、構成を工夫する力
○アナウンスを通して，はっきりしっかりと話す力
など、適切に表現し、伝え合う能力を持った子どもに育てようと考えています。これは、国語力の育成ともつながっていると思います。

　このほかにも、
○番組を作る上での工夫や苦労についての理解
○番組には作り手の意図が含まれていることについての理解
など、メディアについても学ぶことができます。

長崎県南島原市立堂崎小学校
田中健太郎　先生

Q2.映像制作を授業でどのような形で取り入れていけばやりやすいですか？

　小学校高学年の学習として,「ニュース作り」「放送局で働く人々」の学習と連携して進めることで, 教科書で学んだことを実際の活動として行うことができます。

　また、「地域の良さを紹介しよう」「〇〇小の先生を紹介しよう」などといった学習者にとって身近な題材をニュース素材とすることで、伝える相手も意識させやすくなりますし、学習計画も考えやすくなります。

宮崎県都城市立高城小学校
水野宗市　先生

Q3．そのほか現場の先生へのアドバイスをお願いします

　ついつい力を入れて取り組もうとしてしまいがちですが，身近な素材を活用し，できるだけ教科学習と連携させること。機械を使うことが大事なのではなく，計画を立てたり、わかりやすく伝えるためにどんな工夫（文章，映像等）をさせるかを中心に学習を組むことが重要ではないかと思います。

　モデルとなる作品を鑑賞させ，子どもに映像で伝えることの良さや工夫に気づかせることが大切です。できればＣＭなどの制作現場を紹介したテレビ番組を子どもたちに見せ，制作者の意図や表現の工夫について知ると意欲が高まるのではないかと思います。

詳しくはこちらを

映像制作のススメ～学ぶ・つくる・伝える～

URL:http://www.pef.or.jp/05_oyakudachi/eizou_susume/index.html

※本パンフレットは、パナソニック教育財団 先導的実践研究助成
「映像制作カリキュラムおよび活用ガイドの開発」によって制作されたものです。